

2021年3月期 第3四半期
決算説明資料

2021年 2月 5日

株式会社クレハ

I. 本資料のポイント	(3頁)
II. 2021年3月期 第3四半期業績	
・ 概要	(5) ~ (7)
・ セグメント別実績	(8) ~ (12)
・ 財政状態計算書	(13)
III. 2021年3月期 業績予想	
・ 概要	(15) ~ (19)
IV. 添付資料	
・ PGA事業について	(21)
・ PVDF事業について	(22)

1. 本資料のポイント

□ 2021年3月期 第3四半期決算（前年同期比）

LiB用バインダー向けPVDF、農薬、家庭用品、釣糸、環境事業などが増収となり、原材料安、販管費の減少もあり、**セグメント別営業利益は146億円（+16億円、+12.1%）**前年同期に計上した土地売却益等がなく、営業利益は146億円（▲112億円、▲43.5%）

- ✓ 新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、当社グループの生産・販売体制への影響は軽微。
- ✓ 欧州、中国の電動車市場の拡大により、LiB用バインダー向けPVDFの売上げは増加。
- ✓ 原油価格は50ドル台に戻り、シェール井のフラッキング（水圧破砕）は緩やかに回復し、柔軟な価格戦略により、自社製PGAプラグの販売本数は伸長。
- ✓ 前年度のブローボトル事業の譲渡と、欧州での熱収縮多層フィルム等の販売不振により、業務用包装材の売上げは減少となるも、家庭用品、釣糸「シーガー」の売上げは増加。

□ 通期業績予想について

機能製品事業及び環境事業の売上げ増加と、販管費の減少などにより**前回予想を上回る。**

	今回予想		前回予想 (11月10日)		差異		(%)
売上収益	1,400	億円	1,380	億円	20	億円	1.4%
営業利益	165	〃	145	〃	20	〃	13.8%
親会社の所有者に帰属する当期利益	133	〃	115	〃	18	〃	15.7%
基本的1株当たり当期利益	681.42	円	589.19	円			

II. 2021年3月期 第3四半期業績

2021年3月期 第3四半期決算の概要（1）

株式会社クレハ

（単位：億円）

	2020/3 3Q	2021/3 3Q	増減額 (率)
売上収益	1,054	1,057	2 (0.2%)
セグメント別 営業利益計	130	146	16 (12.1%)
調整	-0	0	1
その他の収益	131	5	-126
その他の費用	3	6	3
営業利益	258	146	-112 (-43.5%)
金融収益	5	5	-0
金融費用	4	2	-2
税引前 四半期利益	259	149	-110 (-42.5%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	207	118	-89 (-43.1%)
基本的1株当たり四半期利益 (円/株)	1,041.10	603.64	

< 前年同期比での主な差異要因 >

〔売上収益〕

樹脂製品などが減収となるも、その他関連などが増収となり、あわせて増収。

〔セグメント別営業利益〕

機能製品は減益となるも、化学製品、樹脂製品、その他関連が増益となり、あわせて増益。

〔営業利益〕

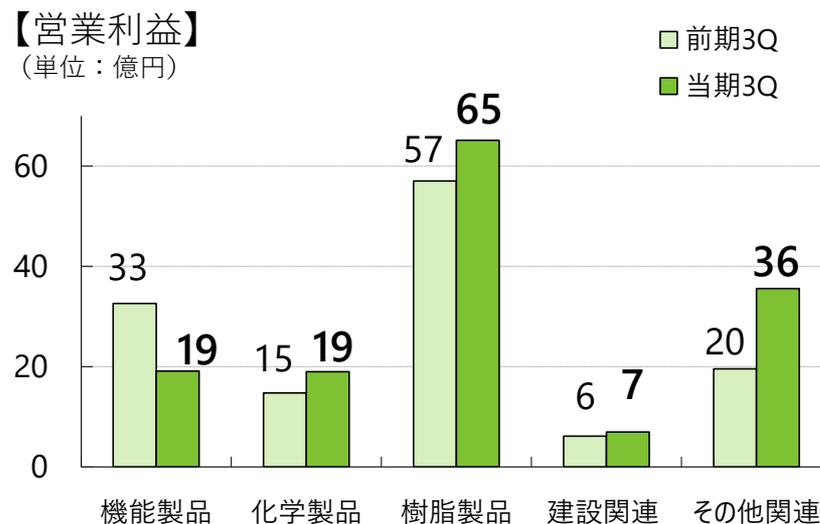
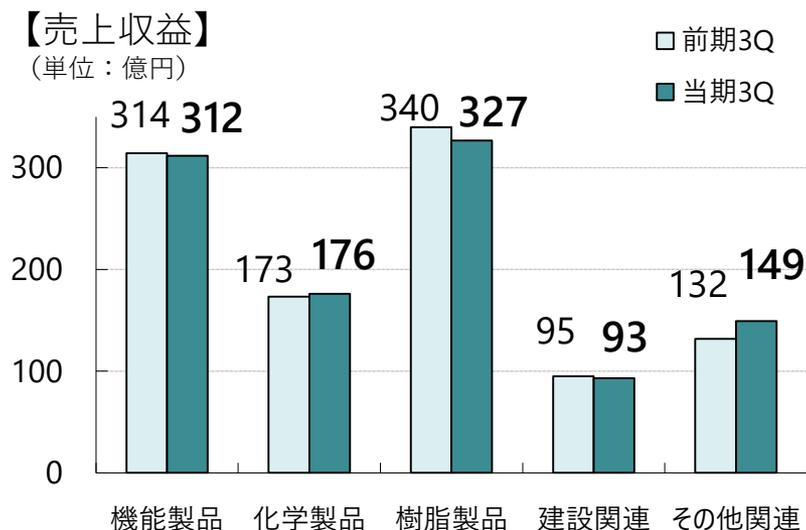
セグメント別営業利益が増加したものの、前年同期の固定資産売却益などがなくなり、減益。

〔親会社当期利益〕

営業利益、税引前利益の減少に伴い、減益。

KUREHA

<セグメント別 第3四半期 前年比較>



<セグメント別 営業利益の主な増減要因>

- 〔機能製品〕 PVDF樹脂は増益となるも、PPS樹脂、PGA樹脂加工品、炭素製品が減益となり、あわせて減益。
- 〔化学製品〕 工業薬品が減益となるも、医薬・農薬が増益となり、あわせて増益。
- 〔樹脂製品〕 業務用包装材が減益となるも、家庭用品・釣糸が増益となり、あわせて増益。
- 〔建設関連〕 公共土木工事が増加するも、民間工事が中止、延期となり、あわせて利益は前年同期並み。
- 〔その他関連〕 低濃度PCB処理、福島県内の災害廃棄物処分などが増加し、増益。

2021年3月期 第3四半期決算の概要 (3)

株式会社クレハ

2020年3月期 第3四半期 実績

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	314	173	340	95	132	1,054
セグメント別営業利益	33	15	57	6	20	130
調整						-0
その他の収益(+)					※	131
その他の費用(-)						3
営業利益						258
金融収益(+)						5
金融費用(-)						4
税引前四半期利益						259
親会社四半期利益						207

(単位：億円)

※ 固定資産売却益 102億円
 割安購入益 15億円
 事業譲渡益 12億円 他

2021年3月期 第3四半期 実績

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	312	176	327	93	149	1,057
セグメント別営業利益	19	19	65	7	36	146
調整						0
その他の収益(+)						5
その他の費用(-)						6
営業利益						146
金融収益(+)						5
金融費用(-)						2
税引前四半期利益						149
親会社四半期利益						118

(単位：億円)

KUREHA

(単位：億円)

	2020年 3月期 3Q	2021年 3月期 3Q	増減 (率)
機能樹脂	204	201	-3 (-2%)
炭素製品	44	38	-6 (-14%)
その他	66	73	7 (11%)
売上収益	314	312	-2 (-1%)
営業利益	33	19	-13 (-41%)

< 前年同期比 > 減収・減益

機能樹脂

PPS 自動車部品用途向けの売上減少と、持分法利益の減少により減益。

PVDF 素材用途は減収となるも、リチウムイオン二次電池用バインダー向けPVDFが増収となり、増益。

PGA 3Qより市場の回復が見られるものの、シールオイル・ガス採掘の減少により、素形材、自社製プラグともに減収となり、減益。

炭素製品

自動車部品用摺動材および高温炉用断熱材向け炭素繊維が減収となり、減益。

その他

グループ会社の接着剤等が増収となり、増益。

(単位：億円)

	2020年 3月期 3Q	2021年 3月期 3Q	増減 (率)
農薬	36	56	19 (53%)
医薬品	36	31	-5 (-15%)
工業薬品	52	43	-9 (-17%)
その他	49	46	-3 (-5%)
売上収益	173	176	3 (1%)
営業利益	15	19	4 (29%)

< 前年同期比 > 増収・増益

農薬

農業・園芸用殺菌剤の売上が増加し、増収・増益。

医薬品

薬価改定があり売上は減少となるも、経費の減少などにより増益。

工業薬品

コロナ禍による市況悪化により、無機および有機薬品の売上が減少し、減収・減益。

(単位：億円)

	2020年 3月期 3Q	2021年 3月期 3Q	増減 (率)
家庭用品	169	175	6 (3%)
釣糸	22	29	6 (28%)
業務用包材	109	87	-21 (-20%)
その他	39	35	-4 (-10%)
売上収益	340	327	-13 (-4%)
営業利益	57	65	8 (14%)

< 前年同期比 > 減収・増益

家庭用品・釣糸

家庭用品、釣糸「シーガー」の売上が増加し、増収・増益。

業務用包材

コロナ禍による外出自粛の影響で、欧州の食肉向け熱収縮多層フィルムの売上が減少したことに加え、前年度にブローボトルを事業譲渡したことにより、減収・減益。

(単位：億円)

	2020年 3月期 3Q	2021年 3月期 3Q	増減 (率)
建設関連事業	153	145	-8 (-5%)
連結売上消去	-58	-52	6 -
売上収益	95	93	-2 (-2%)
営業利益	6	7	1 (14%)

< 前年同期比 > 減収・利益は前年同期並み

公共土木工事が増加するも民間工事が中止、延期となり、あわせて減収、利益は前年同期並み。

	2020年 3月期 3Q	2021年 3月期 3Q	増減 (率)
環境事業	90	109	19 (21%)
運送事業	61	58	-3 (-5%)
病院事業	30	30	-1 (-2%)
その他	16	18	2 (10%)
連結売上消去	-66	-65	1 -
売上収益	132	149	17 (13%)
営業利益	20	36	16 (82%)

< 前年同期比 > 増収・増益

環境事業は、低濃度PCB廃棄物処理、福島県内の災害廃棄物の処分が増加し、増収・増益

運送事業は売上・利益ともに前年同期並み。

病院事業は減収・減益。

1. 資産の部

	2020年 3月末	2020年 12月末	増減
現金・現金同等物	73	118	45
営業・その他債権	283	299	16
棚卸資産	382	368	-15
その他流動資産	52	36	-16
流動資産計	790	821	31
有形固定資産	1,198	1,203	5
無形固定資産	8	19	11
投資等	473	469	-3
非流動資産計	1,679	1,692	13
資産合計	2,469	2,512	43

2. 負債・資本の部

(単位：億円)

	2020年 3月末	2020年 12月末	増減
営業・その他債務	194	190	-5
有利子負債	373	317	-56
引当金	78	61	-17
その他負債	157	149	-9
負債計	803	716	-86
資本金	182	182	-
資本剰余金	150	150	-
自己株式	-87	-87	-0
利益剰余金	1,359	1,518	159
その他の資本	46	16	-30
非支配株主持分	16	17	0
資本計	1,666	1,796	130
負債・資本合計	2,469	2,512	43

Ⅲ. 2021年3月期 業績予想

2021年3月期 業績予想 概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2020/3 実績	2021/3 修正予想※	増減額 (率)
売上収益	1,424	1,400	-24 (-1.7%)
セグメント別 営業利益計	160	167	7 (4.3%)
調整	0	0	-0
その他の収益	134	8	-126
その他の費用	114	10	-104
営業利益	180	165	-15 (-8.5%)
金融収益	5	7	2
金融費用	6	2	-4
税引前利益	179	170	-9 (-5.3%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	137	133	-4 (-3.1%)
基本的1株当たり当期利益 (円/株)	692.61	681.42	

※ 2月5日、業績予想を修正

<前期比での主な差異要因>

〔売上収益〕

リチウムイオン二次電池用バインダー向けPVDFや環境事業などが増収となるも、シェールオイル・ガス掘削市場の停滞によるPGA、ボトル事業売却の影響があった業務用包材、工業薬品の市況悪化による化学製品などの減収があり、あわせて減収。

〔セグメント別営業利益〕

PGA、業務用包材、工業薬品などの減益があるも、PVDFや環境事業などの高付加価値製品の売上が伸長し、あわせて増益。

〔営業利益〕

セグメント別営業利益は増加するものの、前年の固定資産売却益などがなくなり、減益。

〔税引前利益〕

営業利益の減少により、減益。

〔親会社当期利益〕

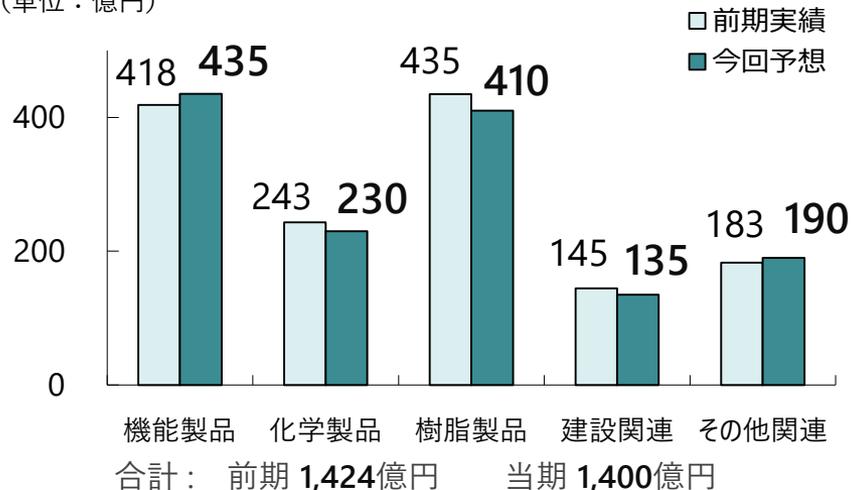
税引前利益の減少により、減益。

KUREHA

<セグメント別 前年比較>

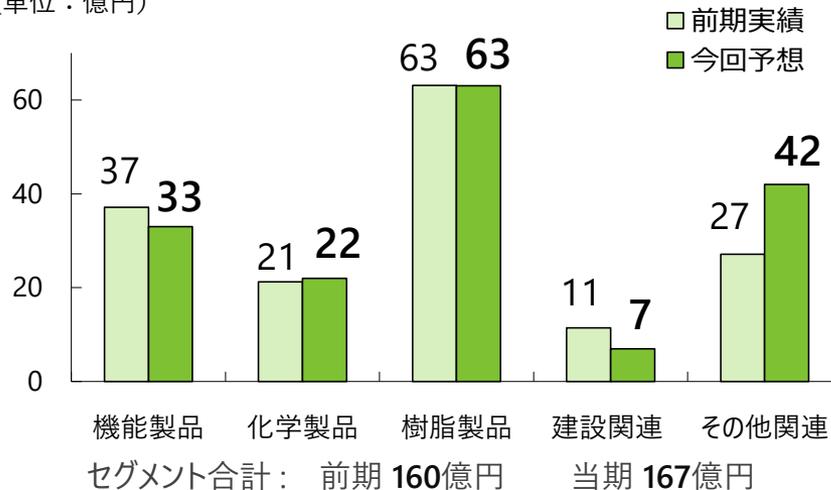
【売上収益】

(単位：億円)



【セグメント別営業利益】

(単位：億円)



<セグメント別営業利益の主な変動ポイント>

- 〔機能製品〕 車載用リチウムイオン二次電池向けが好調なPVDFが増益となるも、PGAが赤字となり、あわせて減益。
- 〔化学製品〕 昨年度に在庫調整となった農薬の需要が回復し、増益。
- 〔樹脂製品〕 業務用包材の販売が減少するも、レジャー用釣糸の販売が拡大し、あわせて前年並み。
- 〔建設関連〕 工事物件の構成の変化、競争の激化により、減益。
- 〔その他関連〕 低濃度PCB処理と福島県内の災害廃棄物処理が増加し、増益。

2021年3月期 業績予想 概要 (3)

株式会社クレハ

2020年3月期 実績

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	418	243	435	145	183	1,424
セグメント別営業利益	37	21	63	11	27	160
調整						0
その他の収益(+)					※1	134
その他の費用(-)					※2	114
営業利益						180
金融収益(+)						5
金融費用(-)						6
税引前利益						179
親会社利益						137

(単位：億円)

※1 固定資産売却益 102億円
 割安購入益 15億円
 事業譲渡益 12億円 他

※2 事業構造改革費用 106億円 他

2021年3月期 今回予想 2月5日修正

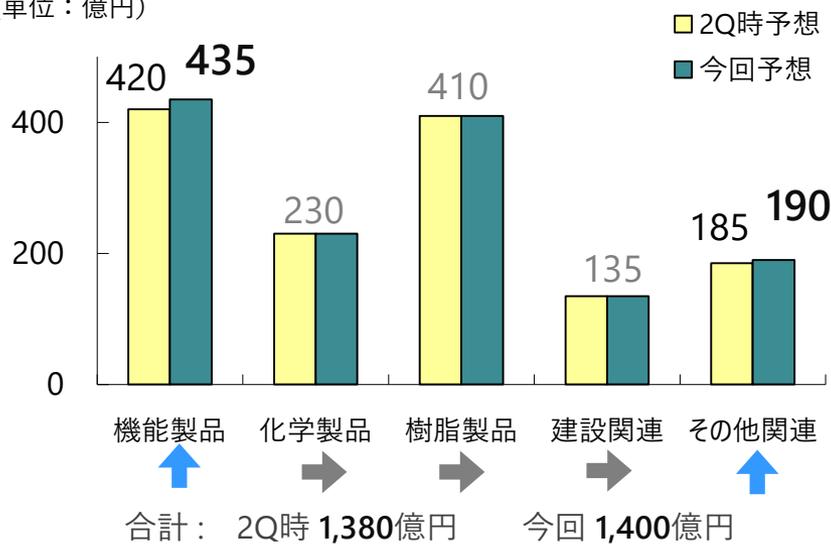
	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社
売上収益	435	230	410	135	190	1,400
セグメント別営業利益	33	22	63	7	42	167
調整						0
その他の収益(+)						8
その他の費用(-)						10
営業利益						165
金融収益(+)						7
金融費用(-)						2
税引前利益						170
親会社利益						133

(単位：億円)

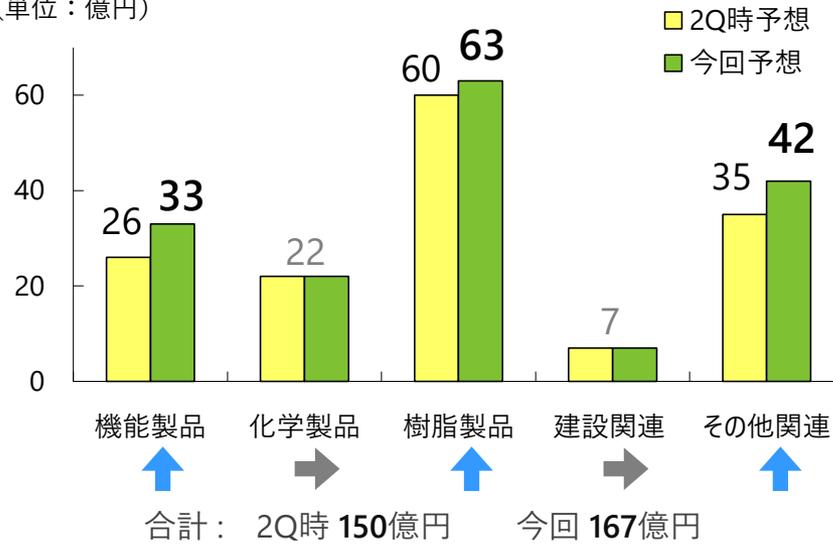
KUREHA

<セグメント別 2Q時点予想との比較>

【売上収益】
(単位：億円)



【セグメント別営業利益】
(単位：億円)



<営業利益の主な変動ポイント>

- 〔機能製品〕 車載用リチウムイオン二次電池向けPVDFが上ぶれ。PGAは変化なし。
- 〔化学製品〕 変化なし
- 〔樹脂製品〕 家庭用品が販売構成比の変化と経費減により上ぶれ。
- 〔建設関連〕 変化なし
- 〔その他関連〕 低濃度PCB処理、福島県内の災害廃棄物処分などが増加し、上ぶれ。

2021年3月期 業績予想 概要 (5)

<セグメント別 2Q時点予想との比較>

2021年3月期 2Q時予想

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社	(単位：億円)
売上収益	420	230	410	135	185	1,380	
セグメント別営業利益	26	22	60	7	35	150	
調整						0	
その他の収益(+)						5	
その他の費用(-)						10	
営業利益						145	
金融収益(+)						5	
金融費用(-)						5	
税引前利益						145	
親会社利益						115	

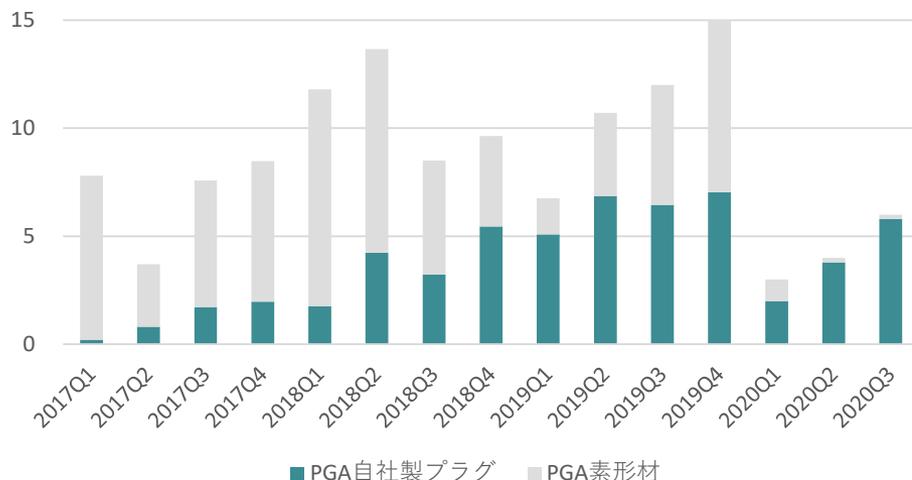
2021年3月期 今回予想 2月5日修正

	機能	化学	樹脂	建設	その他	全社	(単位：億円)
売上収益	435	230	410	135	190	1,400	
セグメント別営業利益	33	22	63	7	42	167	
調整						0	
その他の収益(+)						8	
その他の費用(-)						10	
営業利益						165	
金融収益(+)						7	
金融費用(-)						2	
税引前利益						170	
親会社利益						133	

IV. 添付資料

<PGA 四半期毎の売上収益>

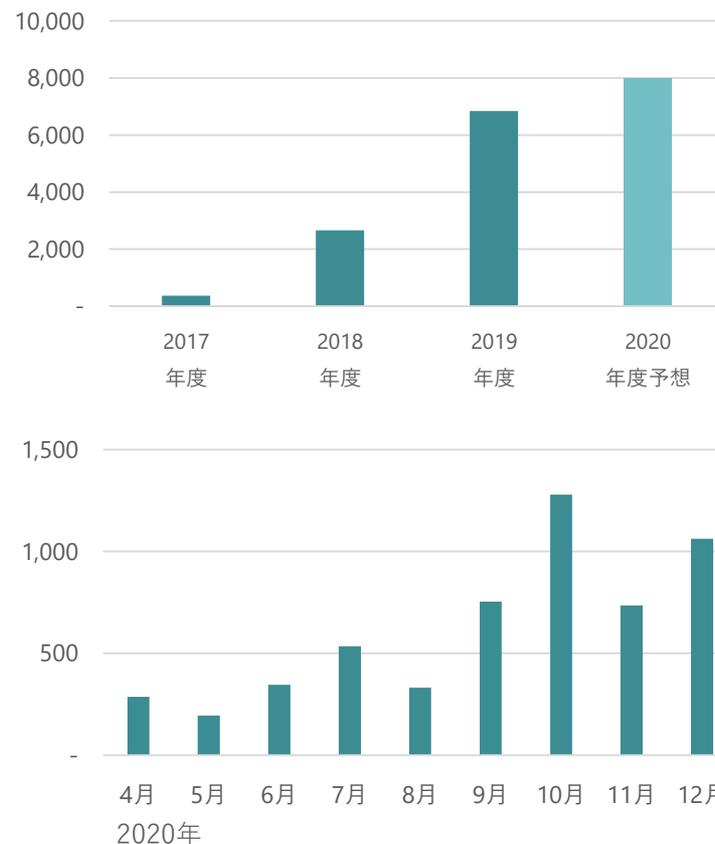
(単位：億円)



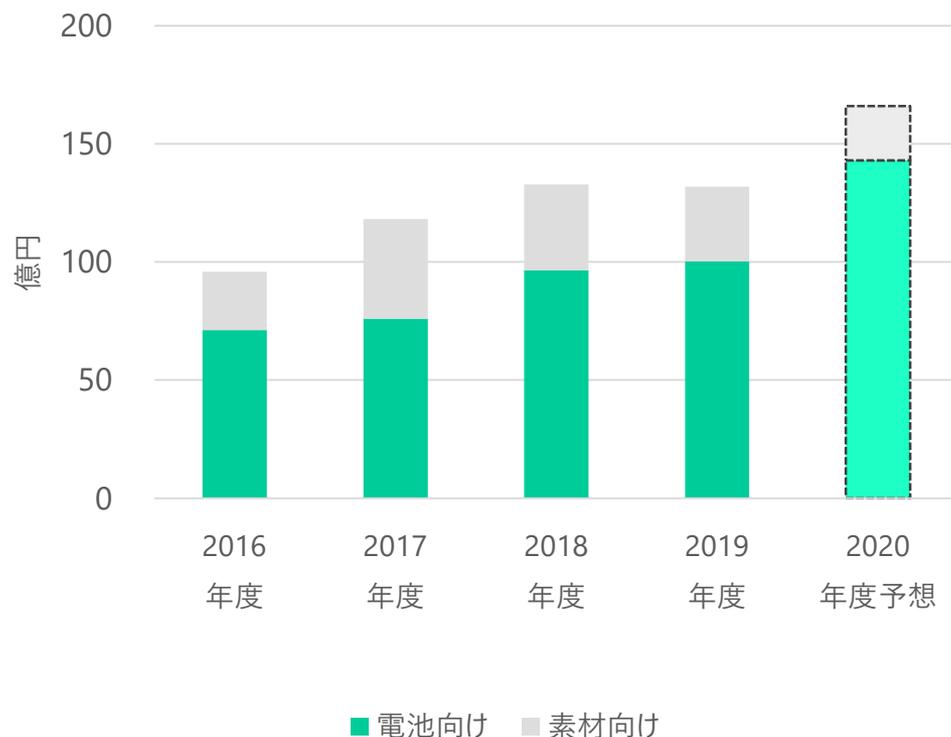
- 2020年度は新規シェールオイル・ガス油井の掘削が大きく減少したが、足元ではガス井を中心に掘削・水圧破砕が再開しつつある。
- 今後は、柔軟な価格対応による数量の増加、非PGA分解性金属フラックプラグ（現在フィールドテスト段階）による超低温地区での拡販を目指す。

<KESによるフラックプラグ販売本数>

(単位：本数)



<PVDF売上収益の推移>



- 韓国・中国の大手LiBメーカー向けを中心に、車載LiB正極材用バインダー市場シェアは約40%で推移。
- 上期は新型コロナウイルスの影響により、主要顧客の多くが減産となったが、環境規制対応と各国の経済対策により、足元では急速に需要が拡大している。
- 中国常熟工場では、2020年5月より特殊ポリマーの生産・出荷がスタート。
- 新工場建設はコロナ禍により検討が遅れているが、中国に立地することを前提に2021年春に方針を決定し、2024年度には商業生産を開始する。

- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。